

## 目次

1. 学生の確保の見通し等を記載した書類.....	2
(1) 学生の確保の見通し .....	2
(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況.....	4
2. 人材需要の動向等社会の要請.....	4
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的.....	4
(2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠....	5

# 1. 学生の確保の見通し等を記載した書類

## (1) 学生の確保の見通し

### 1) 定員充足の見込み

本専門職学位課程の入学定員は、病院長や病院幹部職を担う学生に病院経営に関する高度専門知識の基盤と、健全な病院経営のための実践能力を教育し、課題研究を効果的に行うために適切と考えられる10人に設定した。

本課程と構想を類似する国内における既存の大学院各研究科について、関東地方3校、中部地方1校、関西地方1校の入学定員および定員充足率について調査した。 (添付資料1)

競合大学院のうち、国公立の3校で公表されている過去3年間の平均定員充足率は、1.03から1.22となっているが、兵庫県立大学の医療マネジメントコース志願者数の割合は、平均1.73を超えている。この数字から、国公立ということで、定員超過とならないように合格者を厳正に選別していることがうかがえる。

一方、私立学校大学院の2校の過去3年間の平均定員充足率は、1.12および1.20と、いずれも充足している状況である。これは、医療経営管理分野において、地域のニーズや病院経営戦略を立案し実行するリーダーシップを発揮するための専門教育課程に入学を希望する学生が多くいることを示している。愛知県では、1校の大学院経済学研究科修士課程で医療経済マネジメントコースを開設している。本学大学院においては、医学研究科に専門職学位課程を開設し、対象を医師とし、医学および臨床経験を土台として、健全な病院経営を実践するために必要な知識および技能を1年6カ月で修得させ、より早期に地域社会の病院で経営手腕を発揮できるように差別化を考えている。本学大学院医学研究科に病院経営学・管理学専攻専門職学位課程が設置認可された折には、他校の経済学研究科に開設されている修士課程のコース、本学の医学研究科に設置される専門職学位課程の2専攻より、学生が本当に目指すべき専攻への進学が選択可能になるだろう。

また、本専攻の示す「病院」に該当する中部地方以西に位置する一般病床200床以上を有する病院またはDPC対象病院（約500施設）に所属している病院長および病院経営に関与または関心のある者を対象に行ったアンケートにおいて、病院長を対象にした人材需要調査では、97名の回答があり、病院経営学・管理学について関心がある病院長は97名（100%）であり、病院経営において、専門的知識を有する者が経営幹部に必要と考える者の割合は94名（97%）と高い結果を示した。さらに、幹部医師への受験の機会を与えることについては30名、進学推奨についても27名と定員を超える回答が得られた。このことから、現在病院経営を担っている経営者が、将来、各病院の医療機関責任者候補とする者に、本専門職学位課程の知識を学ばせることに強い関心があると考えられる。

進学希望調査では、47名の回答があり、病院経営学・管理学について関心がある者が43名（91%）、病院経営管理学分野における大学院教育の必要性があると考える者が46名（98%）と高い結果を示した。また、受験希望および進学希望においても11名が希望すると回答があり、入学対象となる者も、本専門職学位課程の教育内容に対して強い関心があると推定できる。

中部以西においては、本専門職学位課程と同構想の専攻は数多くなく、建学理念として「独創一理」を掲げ、創立当初より次代を担う医療人を育成し続けてきた藤田医科大学の強みを生かし、既に病院の現場で活躍している医療従事者等が働きながらでも教育を受けやすい環境で本専門職学位課程へ進学し、地域の病院でその経営手腕を発揮し、社会に貢献できる病院経営者および経営幹部専門職の養成を目指す。

## 2) 定員充足の根拠となる調査結果の概要

令和5年度（2023年度）に大学院医学研究科病院経営学・管理学専攻（専門職）を設置した場合、入学の主要対象となる学生は中部地方をはじめとした全国の病院に所属している医療機関責任者候補となる医師である。当初は、中部地方をはじめとした全国の病院に所属している医療機関責任者候補となる医師およびその職に就こうと考えている者を対象として、学生ニーズを調べるための進学アンケート調査および人材需要アンケート調査を行ったが、本専攻の示す「病院」に該当するアンケート調査対象を設定するため、より適切な調査方法を再検討し、中部地方以西に位置する一般病床200床以上を有する病院またはDPC対象病院（約500施設）に所属している病院長および病院経営に関与または関心のある者を対象に、改めて調査を実施した。

【アンケート調査】（東海地方の病院140件、近畿地方の病院224件、中国地方の病院86件、北陸地方の病院45件を対象・令和4年6月実施） (添付資料2)

・進学希望調査では、47名の回答があり、病院経営学・管理学について関心にある者が43名（91%）、病院経営管理学分野における大学院教育の必要性があると考える者が46名（98%）と高い結果を示した。また、受験希望および進学希望においても11名が希望すると回答があり、入学対象となる者も、本専門職学位課程の教育内容に対して強い関心があると推定できる。 (添付資料3)

・病院長を対象にした人材需要調査では、97名の回答があり、病院経営学・管理学について関心にある病院長は97名（100%）であり、病院経営において、専門的知識を有する者が経営幹部に必要と考える者の割合は94名（97%）と高い結果を示した。また、幹部医師への受験の機会を与えることについては30名、進学推奨についても27名と定員を超える回答が得られた。このことから、現在病院経営を担っている経営者が、将来、各病院の医療機関責任者候補とする者に、本専門職学位課程の知識を学ばせることに強い関心があると考えられる。 (添付資料4)

アンケートで寄せられた参考意見として、「医療経済、安全管理、感染対策などは、医学教育に必須と考えますが、不十分な現状です。貴学の研究科がこの問題解決の先駆けとなられることを期待しています。」「管理職に就く前に経営を学ぶ機会は必要であり、その仕組みが増えることが望ましい。」との意見をいただいた。また、「修業年限1年6か月の間、各病院職務と掛け持ちは可能ですか。」との意見もあり、働きながら学ぶ課程に強い要望があることがうかがえた。

これらの調査の結果より、本学大学院医学研究科の専門職学位課程設置には、入学対象者および本専攻が想定する病院の病院長へのニーズが高かったことから、長期的かつ安定的に学生確保が可能である。

### 3) 学生納付金の設定の考え方

本専門職学位課程の学生納付金については、本学既存の修士課程や博士課程の学納金を参考とした。また、実務経験を有し、医師免許を有する社会人を主に学生対象としていること、病院経営学分野における著名な講師や、企業等で各分野に実践的に携わっている者などの実務経験豊かな人材で運営することから、入学金150,000円、授業料 1年次900,000円、2年次750,000円とする。

これは、ほかの競合大学院と比べると中程度の金額設定であるが、入学金や授業料において金銭的理由により進学を躊躇することのないように設定し、私立大学院の中では比較的低額となっている。全国より学生を募集することを目指し、本専門職学位課程が目的とする、高度の専門職人材の育成を行う。【学生納付金における他大学院等の比較表】。 (添付資料5)

## (2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学では、各学部長を委員長とする「入試広報委員会」を設置している。学生募集、入学者選抜方法、実施等に関する方針、広報業務、入試実施業務等を一括して募集活動を実施している。専門職学位課程の大学院生の確保に向けた取り組みとして、主に行う項目は以下のとおりである。

### 1) 広告掲載

- ① 本学ホームページの大学院専用ページに専門職学位課程の項目を設け、情報を発信する。  
教育目標、アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、教育課程、シラバス等を掲載し、情報の公開を行う。
- ② 連合広告中心の新聞広告

### 2) 告知・広報活動

- ① 関連病院や関係機関・団体等への募集要項の送付等、積極的な広報活動
- ② プレスリリース・記者発表
- ③ 開設記念シンポジウム等の開催
- ④ 説明会の開催：年1~2回

## 2. 人材需要の動向等社会の要請

### (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

我が国の世界に類を見ない少子高齢社会および人口減少社会によって、地域における医療提供体制の変化に伴う医療機関を取り巻く環境は、これまで以上に複雑化している。たとえば地域住民の高齢化に伴う医療ニーズの変化への対応、人口減少地域における医療機能・診療体制の確保、医療技術の進歩やICT技術の発展等による医療供給の変化、複雑化する診療報酬制度等に対応する安定的・持続可能な病院の財務基盤および経営体制、働き方改革に対応する医療人材の安定的確保、新興感染症等の感染拡大や災害に対応できる危機管理能力、国際的競争力のある優れた医療の水準と質の向上等、これからの病院を取り巻く環境は大きな変化の中にあり、実践的な能力・スキルの習得のためのリカレント教育プログラムの充実が求められている。特に、社会人が学ぶ実践的な教育を支える実務家教

員を活用した、専門的・実践的なカリキュラムの必要性はますます高まっている。

このような社会背景から、病院経営・病院管理に携わる医療機関の長や幹部職員は、高度かつ専門的知見を有する専門職でなければならない。その中でも特に病院長や病院幹部職を担う医師が病院経営に係る習得すべき能力は、組織マネジメント、財務知識、診療報酬、病院管理、施設管理など多岐にわたる。地域の医療ニーズや将来需要に応じた病院経営戦略を立案し実行するリーダーシップはもとより、国際医療や海外連携等、国際水準で活躍できる病院長や病院幹部職を担う医師の専門教育は次の時代を担う専門職医療人として必要不可欠である。

これまでの医学教育においては卒後を含めて十分な教育機会がないままに病院経営・病院管理の役割を担うことが慣行であった。しかしながら複雑な制度の下で健全な病院経営を続け、時代の変化と要請に応え続けるためには、体系だった教育に基づく高度専門能力の育成が必須である。

このような時代の要請に根本的に応えるために、医学知識とともに病院を運営する専門職としての能力を有する高度専門人材育成を目的として、専門職大学院の設置を行う。設置する専門職学位課程では、リーダーシップや財務会計、診療報酬等の関連法規、病院設計・施設管理、国際認証等の病院経営学や、人事労務、医療安全、院内感染対策等の病院管理学、医療制度や医療産業等の医療政策学を体系的に修得し、病院経営演習による理論と実務を結びつけるカリキュラム構成により、時代の要求に沿った将来の病院経営を担う専門職人材を養成する。

## (2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

世界的な人口増加や先進国における高齢化を背景に、医療・健康産業の市場規模は今後拡大を続けるだろう。また、今般の稀にみる新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、医療機関の責任者として強力なリーダーシップ・管理能力が求められる場面が多々あることは容易に想像がつく。地域の医療ニーズや将来需要に応じた病院経営戦略を立案し実行するリーダーシップはもとより、国際医療や海外連携等、国際水準で活躍できる病院長や病院幹部職を担う医師の専門教育が、より一層必要である。しかし、現在、中部地方において専門職学位課程が設置されている医学研究科はなく、時代の要求に沿った将来の病院経営を担う専門職人材を養成するためにも、今回、私立大学である本学大学院医学研究科に病院経営学・管理学専攻（専門職大学院）を設置することは極めて重要であると考えられる。

令和4年6月に、中部地方以西に位置する一般病床200床以上を有する病院またはDPC対象病院（約500施設）に所属している病院長を対象に専門職学位課程設置にかかる人材需要アンケート調査を実施した。この調査の結果、本学大学院医学研究科病院経営学・管理学（仮称）専攻（専門職大学院）で学んだ修了生の採用を「希望する」と回答した病院は42件であった。

さらに、このアンケート結果においてクロス集計を行い、病院経営学・管理学に関心のある管理職の医師に対して、本専門職学位課程の「受験を推奨する」と回答し、合格した場合は「進学も推奨する」、修了生の採用を「希望する」と回答した病院は17件であった。 （添付資料4）

以上の結果より、本専門職学位課程の修了生が就職を希望した場合に、一般病床200床以上を有する病院またはDPC対象病院等の需要が存在すると考えられ、社会的、地域的な人材需要を含めた社会の動向に応えることができる。